



しらみね物語 NO.13



令和元年11月5日

<学びを深める11月>

虫の音もいつしか消え、晩秋の冷気を感じる季節となりました。山の紅葉もきれいに色づいてきています。10月は、校外学習、持久走の取り組みなど、いろいろな行事がありました。地域においても区民文化祭の催しがありました。子ども達は、どの活動にも一生懸命取り組み、参加していました。まさに、文化の秋、運動の秋、学習の秋です。11月は、学習発表会をはじめとして学びを深めていきます。寒い日が続きますが、元気に学習に励んでほしいと思います。皆様の変わらぬご協力をお願いいたします。

幸せいっぱい ありがとういっぱい (10月30日全校朝会での校長講話より)

人間が味わう3つの幸せ。

一つ目は「もらう幸せ」です。何か物をもらったり、何かをしてもらったりするときに感じる幸せのことです。生まれて間もない赤ちゃんは、ごはんを食べさせてもらい、お風呂に入れてもらい、服を着せてもらい、「もらう幸せ」で満たされます。もらうこと、それはとてもうれしいことです。

二つ目は、「できる幸せ」です。みなさんは、様々なことに挑戦し、「できる幸せ」をたくさん味わってきたことでしょう。努力を重ね、仲間と力を合わせて手に入れたものもあるでしょう。勉強で、運動で…。むずかしい金管パレードも。できること、それはみなさんを成長させるすばらしいことです。

三つ目は「あげる幸せ」です。アンパンマンは、弱っている人、元気のない人、悲しんでいる人がいると、やさしく寄り添い、自分の頭であるアンパンを食べさせます。相手は元気になりますが、アンパンマン自身は力を失います。でもそうせずにはいられないのです。なぜなら、それがアンパンマンの幸せだからです。

六年生は「あげる幸せ」をたくさん味わってきたのではないのでしょうか。遊びの時間を削って行事の準備をしたり、委員会活動の仕事をしたり…。たてわり班活動では、下級生にやさしく声をかけたり…。時には面倒くさいと思いながらも、同時に喜びや誇りを感じていたのではないのでしょうか。「もらう幸せ」「できる幸せ」にとどまることなく「あげる幸せ」を生きてほしいと願います。なぜなら、「あげる幸せ」には人間として最も大切にすべき心が秘められているからです。幸せいっぱいの学校は、「ありがとう」の言葉であられます。幸せいっぱい、ありがとういっぱいの学校にしていましょう。



【5年生:村田製作所見学】



【3・4年生:静かに朝読書】



【1・2年生:校外学習電車に乗って】

<11月のめあて>

学習目標：姿勢と手のあげ方 言葉づかい

姿勢…学習中は両足を床につける。肘をつけない。

手をあげるときは、まっすぐ伸ばし、耳の横につける。

話す…公的な言葉づかい。「～です。」「～ます。」 相手が聞く姿勢になってから、話し始める。

背骨が曲がっていると、頭が痛くなったり、しっかり考えることができなくなったりします。

自分達の現状を振り返り、クラスごとに、具体的なめあてを立てて取り組んでいきます。



生活目標：力を合わせよう

運動会で高まった「力を合わせる意識」を、11月は学習発表会に向けていきます。一人ひとりが自分の役割を果たすことが大切です。素敵な姿を保護者・地域の皆様に見ていただきたいです。

<区民文化祭>



10月27日(日)、区民文化祭のステージ発表において『いそぶし』を披露しました。運動会以来の演技となるため、昼休みに練習を重ね当日を迎えました。「そ〜れ!」のかけ声や跳ねるような動きで、地域の方々に元気をお届けすることができたようです。



【いそぶし:心をそろえて楽しく!】

<児童の活躍>

白山市図書館を使った調べ学習コンクール

高学年の部 佳作 6年 北嶋 空河 『クロスカントリースキーの魅力』

(全国コンクールに出品)

白山市ジュニア文芸賞 島清部門

1・2年詩の部 最優秀賞 1年 殊才 瑚雪 『たいへん かぞく』

5・6年詩の部 最優秀賞 5年 織田 千晴 『さつまいも』



<家庭学習チェック週間>

11月5日(火)～11日(月)は、家庭学習チェック週間です。家庭学習の習慣が定着してきたので、10月は「学年のめやすの時間 取り組もう」をめあてにすすめました。自学ノートを意欲的に取り組む児童が増えました。とてもうれしいことです。11月は、めあてを達成できる児童が10月よりも増えるように、個別に声かけや相談を進めます。ご家庭におかれましても、家庭学習ができる環境づくりと見守りをお願いいたします。

